

第28週の発生動向(2005/7/11~2005/7/17)

1. 咽頭結膜熱は、青森保健所管内、上十三保健所管内、むつ保健所管内で引き続き**警報**が出されています。
2. 水痘は、むつ保健所管内において引き続き**注意報**が出されています。
3. 手足口病は、弘前保健所管内において引き続き**警報**が出されています。
4. 伝染性紅斑は、青森保健所管内において引き続き**警報**が出されています。
5. ヘルパンギーナは、むつ保健所管内であらたに、弘前保健所管内で引き続き**警報**が出されています。

第28週五類感染症定点把握

保健所名 疾患番号・疾患名	青森		弘前		八戸		五所川原		上十三		むつ		青森県計		増減数 (前週からの増減)
	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	
(72) インフルエンザ															0
(60) 咽頭結膜熱	21	2.63			1	0.11			5	0.83	4	1.00	31	0.74	12
(61) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	9	1.13	11	1.10	4	0.44	2	0.40	4	0.67			30	0.71	0
(62) 感染性胃腸炎	15	1.88	10	1.00	7	0.78	5	1.00	10	1.67	7	1.75	54	1.29	16
(63) 水痘	13	1.63	2	0.20	5	0.56	6	1.20	7	1.17	22	5.50	55	1.31	0
(64) 手足口病	23	2.88	49	4.90	16	1.78	12	2.40	21	3.50	5	1.25	126	3.00	15
(65) 伝染性紅斑	18	2.25	6	0.60	1	0.11			10	1.67	7	1.75	42	1.00	12
(66) 突発性発しん	7	0.88	3	0.30	2	0.22			3	0.50	6	1.50	21	0.50	-4
(67) 百日咳															0
(68) 風しん					1	0.11							1	0.02	0
(69) ヘルパンギーナ	40	5.00	122	12.20	18	2.00	2	0.40	3	0.50	28	7.00	213	5.07	99
(70) 麻しん(成人を除く)	1	0.13											1	0.02	1
(71) 流行性耳下腺炎			4	0.40	3	0.33	3	0.60	6	1.00			16	0.38	-4
(73) 急性出血性結膜炎															0
(74) 流行性角結膜炎					1	0.50	3	3.00					4	0.36	-2

保健所名	定点数				
	インフルエンザ (内科+小児科)	小児科	内科	眼科	基幹
青森	13	8	5	2	1
弘前	16	10	6	3	1
八戸	14	9	5	2	1
五所川原	7	5	2	1	1
上十三	9	6	3	2	1
むつ	6	4	2	1	1
合計	65	42	23	11	6

■ は警報 ■ は注意報 「空欄」: 患者発生数0

表 以外の感染症法対象疾患 (17年計には、今回届出された人数を含む)

- (29) つつが虫病(四類全数把握疾患) 青森保健所管内: 1人、五所川原保健所管内: 1人 (17年計 10人)
(82) マイコプラズマ肺炎(五類基幹定点把握疾患) 八戸保健所管内: 10人 (17年計 64人)

感染症の窓

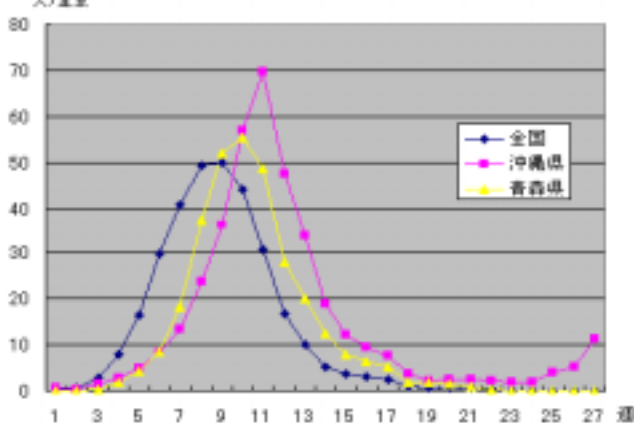
インフルエンザ (influenza)

インフルエンザは、真冬から春先にかけて流行し、例年、初夏頃までには終息します。夏場には散发患者からウイルスが検出される報告がみられますが、流行拡大までには至っていません。

今年、沖縄県では、一度終息したインフルエンザが、6月中旬から再び流行し始め、7月14日に流行発生注意報が発令されました。

また、図1に示すようにインフルエンザの発生状況が類似していることなどから、青森県においても再流行しないとは限りませんので今後の動向に注意が必要です。

図1 平成17年 インフルエンザ発生状況



インフルエンザの予防法

- うがい、手洗いの励行
- 人ごみへの外出はできるだけ避ける
- 栄養と睡眠に気を配る
- 室内の換気に気をつけ適切な湿度を保つ

インフルエンザ症状(38以上の高熱、悪寒、頭痛、筋肉痛等)がある場合は、マスクを着用して、なるべく早く医療機関で受診しましょう。